

令和3年度 研究外部評価（事後評価）におけるコメントおよび対応

整理番号	テーマ名	評価点	総合評価
21-C3	導電性繊維の加工技術に関する研究	11.8	A
研究期間	令和元年度～令和2年度（2ヵ年）		
研究概要	従来のメッキ液浸漬法に比べ環境負荷が少ない効率的な特殊スプレー法を用いて、ポリエステル繊維に対して連続的な導電性付与技術を開発した。		
外部評価委員のコメント			
<ul style="list-style-type: none"> ・当初の目標に達していない項目もあるものの、今後、実用化を目指した出口企業との繋がりがりや、外部(産総研)と連携した研究推進が計画されるなど、予想以上の成果をあげたといえると考えます。 ・今後、具体的な用途に向けて商品化するためには更に研究開発しなければならないことが多くあります。特にコストが重要なポイントとなりますが、製法としては環境にやさしいという時代に合ったものなので、期待できます。 ・実用性を視野に入れた新しい加工技術の研究として価値があると受け止めました。 ・開放系で連続加工が出来るとの事ですので、今後生産性向上に期待致しております。 ・健康・医療分野で貢献できる可能性があり、良い研究だったと思います。 スマートテキスタイルは注目が高まっており、これから求められることも多く、成長産業として期待できるので、良い結果が得られたと思います。従来の製造方法を改良し、環境に負荷を掛けず、効率よく安価にできるようになり、実用化に一步前進したと思います。 石川の繊維産業は技術と歴史があり、それに新技術が加われば、大きく飛躍するチャンスが生まれると思いますので、継続し、実用化につなげてほしいと思います。 ・時流に合った研究であると思います。 ・新しく商品化されることを期待します。 ・価格がリーズナブルになるとよいのではないですか。 ・医療・介護・見守用途へのスマートテキスタイル製品開発につながるよう期待します。 ・県内企業及び産総研と連携して競争的資金獲得につながった点は評価できます。研究を継続し、実用化につなげて欲しいです。 ・普及の可能性は商品及びデザインの製品化が楽しみであり、同時に石川発を期待したいです。 			